

酪農に憧れや興味を抱き、実践をとおして酪農を学ぶ学生達は今、何に興味を持ち、どのような活躍をしているのか？
未来の酪農業界を担う期待の星を紹介！



苦前町から実家の酪農を継ぐために進学しました。わからないことだらけの酪農でしたが、わからないなりに試して結果につながったときは嬉しいです。共進会では農家さんのお手伝いをするのもあるので、緊張感をもって取り組んでいます。(2年生、小林悠之さん)



共進会前は毎日牛を洗わなければすぐに汚れてしまうし、最初はなかなか調教がうまくいかないこともあります。協力して活動しています。将来のことはまだ深く考えてはいませんが、牛のそばで仕事ができたら嬉しいです。(1年生、新海治美さん)



大阪の非農家出身で、何も知らないところからスタートしました。早起きも最初は辛かったですがようやく慣れ、作業も覚えて今は楽しく活動しています。これからも続けていきたいです！(1年生、河三志郎さん)



生徒はさまざまな牧場に実習に行くため、どこに行っても恥ずかしくないような立ち居振る舞いと、仕事をする大人との接し方を指導しています。



私自身酪農家の出身でもあることから、酪農という仕事の素晴らしさを少しでも伝えられる指導を心がけています。ここでの経験を卒業後、次のステージで活かしてもらえたらこれほど嬉しいことはないですね。(西川先生)



3年生が引退し、新たに班長を務めています。長野県の出身ですが、同じ酪農でも色々やり方があって、土地ならではの酪農があることを知りました。これからは班長としてかっこよく牛を引けるように頑張ります。(2年生、新海市郎さん)



私は十勝の出身で小さい頃から共進会に通ってました。牛が大好きなので、高校に入っても共進会に取り組みたいと思い活動しています。これからも酪農や共進会には関わり続けていきたいです。(2年生、佐藤鈴菜さん)



その時々酪農情勢に合わせた管理や技術を取り入れながら活動しています。最近では、和牛ETを導入し、和牛の管理についても学べるようになりました。

NO.1

とわの森三愛高等学校



概要
酪農学園大学附属 とわの森三愛高等学校 機農コース 共進会班
部員8名(1年生3名、2年生5名)
施設 対尻式繋ぎ牛舎、独房6房(乳牛34頭、和牛4頭)
活動内容
機農コースの生徒のうち、共進会やさらに深い牛の管理に興味を持った有志の生徒達で活動している。年に6~7回ある共進会出場を目標に乳牛の管理を行なう。日々の牛の飼養管理をはじめとし、共進会前には牛の調教や手入れを行なう。「勝つ」ことだけを目的とせず、結果をもとに改善を重ねるプロセスを大切にしている。
担当教諭：西川 謙 先生



学生牛部は今!